

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年9月16日

施設名	青少年体育館	所管課室	生涯学習課
-----	--------	------	-------

1. 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成22年度主催事業> 小学生スポーツ教室 (卓球・新体操・バレーボール・バドミントン・バスケットボール) 初心者スポーツ教室 (卓球・バドミントン) 小学生バスケットボール教室 共催スポーツ大会・教室 (小学生ドッジボール秋季大会、小学生男子バレーボール教室) 地域自主クラブスポーツ活動支援 (一般スカッシュバレーボール、天王卓球クラブ、天王バレーボール、天王シャトルズ(バドミントン))</p>
施設内容	青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要: 1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階閲覧席 1500席
職員体制	職員:館長1名 館長補佐1名 指導員3名 事務員1名 合計:6名 ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務

2. 収支の状況

		H21年度(決算)	H22年度(決算)	H23年度(予算)
収入	県支出金	36,958,439	37,010,744	37,020,000
	事業費収入	0	0	0
	収入計 (a)	36,958,439	37,010,744	37,020,000
支出	事業費	443,705	445,293	452,000
	管理運営費	16,176,730	16,174,026	15,809,000
	人件費	18,578,141	18,628,932	19,018,000
	消費税	1,759,863	1,762,493	1,741,000
	支出計 (b)	36,958,439	37,010,744	37,020,000
収入(a)-支出(b)		0	0	0
使用料収入		3,966,473	4,234,627	3,966,000

3利用実績

(1)利用団体数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
団体数	1,667	1,531	1,500	1,524	1,485	1,541

(2)利用者数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均
人数	64,565	63,745	70,970	66,088	66,691	66,412

4業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成17年度より各種競技の初心者スポーツ教室を開催している。教室終了後はほとんどの方が自主クラブをつくり、当体育館で年間を通してスポーツに励んでいる。 ○小学生スポーツ教室は平成4年度から18年間継続しており、現在、バドミントン、卓球など5種目が年間を通して実施されている。 ○伊野スポーツセンターの宿泊団体に、青少年体育館と青少年の家の利用をPRしている。また、継続利用いただいている県外大学へはスポーツセンター職員が直接出向いて招聘活動を行い、これらの施設の利用が継続されている。 ○職員が団体に施設をPRし、四国ウインタースクール(卓球)を誘致し、ここ数年継続して利用されている。 ○利用団体の代表者に対して、施設利用のお礼と今後の利用についてのPRを兼ねたはがきを年2回送付した。受け取った方からは返信をいただくこともあり、利用促進に向けたフォローアップにつながっている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催事業参加者全員と施設利用団体の代表者へのアンケート調査を通じて、利用者ニーズ等の把握に努めている。また、トレーニング室利用者に対しては、トレーニング方法等の指導やアドバイスをを行うとともに、健康づくりに関するアンケートを行った。 ○当日の利用申し込みについて、次回からの前日までの申し込みをお願いするとともに、施設の空き状況等を判断して、可能であれば当日利用にも対応している。 ○平成23年3月に新たに更新した県立スポーツ施設ポータルサイトで施設案内や施設の空き状況を情報提供している。 ○利用者に気持ちよく利用していただくために、点検日を設けて施設・器具の整備や清掃、定期的な点検、修理等に努めている。 ○初心者卓球・バドミントン・バレーボール教室の修了者で行っている地域の自主クラブの練習時に、要請に応じて指導員が指導のための練習に加わりサービスの向上に努めている。 ○職員2名をスポーツ指導者研修(青少年センター主催)に参加させ、職員の資質・指導力向上に努めている。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き継ぎ事項などの連絡ミスがないように、職員間でお互いの業務にこだわらず、助け合いながら連携して業務に当たっている。 ○トレーニング室の利用マナーや器具の使い方などの講習を修了した方の登録を行い、利用者証を発行している。その結果、利用者のマナーが良くなり、施設や器具の安全な利用が保たれている。(平成22年度登録者209人、延べ945人) ○アリーナ内の清掃、電球の交換、施設敷地内の雑草の草刈や施設周辺のコンクリート壁のコケを取り除くなど職員が行い、経費節減に努めた。 ○国の経済対策による臨時交付金を活用して、バスケットボールコートライン変更工事、トレーニング機器の購入(エアロバイク2、バタフライ、)及び修繕(ランニングマシン他)を行った。

④利用実績	○平成21年度と比較して、利用団体数は39団体減少(▲2.6%)したが、利用者数は603人増加(+0.9%)した。
⑤収支の状況	○利用者数の増加により、平成21年度と比較して、使用料収入は268千円の増収となった。 ○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に8,256円返還) 平成22年度予算額 37,019,000円
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>○継続的に利用いただいている県外大学に対して、関連施設と一体となった来館PRを行っている。 ○職員の資質・指導力向上に関する研修として、スポーツ指導者研修(青少年センター主催)に継続して参加させている。 ○筋力アップや健康づくりの講習会の開催について、トレーニング室利用者に対してアンケートを実施し、利用者サービスの向上に取り組んでいる。 ○今後、更なる向上を目指して、以下の取り組みを強化してもらいたい。 ①高知青少年の家が隣接しているという特色を活かして、両施設を一体的に活用するための施設運営を図ること。 ②利用者の立場にたったホームページのリニューアルと、高知青少年の家との連携など施設の特色を活かした情報発信を行うこと。 ③利用者の利便性の向上を図るため、インターネット利用予約の導入を検討すること。 ③来館動機や導入機器など狙いを絞ったアンケートを実施すること。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの